

## 8. 庁舎跡地周辺街づくりの推進

池袋駅の東口は、サンシャインシティ方面に歩行者の流れが集中し、人々でにぎわう空間の広がり課題のあるエリアです。区は、新庁舎整備を契機として、庁舎移転後の庁舎跡地の民間活用をはかり、新たな賑わい拠点を形成する計画です。また近年、庁舎跡地周辺では、民間による開発事業が活発化しており、こうした民間動向と相まって、庁舎跡地周辺のまちづくりとして展開することで、池袋副都心全域での魅力と回遊性を高めていくことが必要です。

このため、平成23年3月に地元商店会や町会の代表等で構成される「現庁舎周辺まちづくりを考える会」が発足し、地元大学の立教大学や帝京平成大学も加わり、まちづくりワークショップを行い、同会より提出された「まちづくり提言書」の趣旨を活かしつつ、まちの姿が大きく変わるこの機会をとらえ、賑わいにあふれ、人が回遊する魅力的なまちづくりの実現を図ってきました。

そして、新庁舎の整備に伴って計画されている庁舎跡地の活用及び新ホール整備を契機としたまちづくりを計画的、総合的に推進するため、平成26年3月に「現庁舎周辺まちづくりビジョン」（以下「まちづくりビジョン」）を策定しました。これは、都市計画マスタープラン及び池袋副都心整備ガイドプランにもとづき、「現庁舎周辺まちづくりを考える会」からの提言も踏まえ、庁舎跡地周辺のまちづくりの方向性を示したもので、実現のためのアクションプログラムも定めています。今後、計画的で総合的なまちづくりを展開しながら池袋副都心の都市再生を推進させていきます。

### (1) 庁舎跡地周辺まちづくりの方針

まちづくり活動の目標や公共施設整備の方針を次のとおり掲げています。

- 1 魅力的な文化にぎわい拠点を つくる
- 2 安全安心の拠点を つくる
- 3 2つの拠点を つなぎ新たな回遊性を生み出す
- 4 グリーンループをつくりスマートシティをめざす
- 5 にぎわいのまちづくりを広げる

### (2) ビジョンの実現に向けたアクションプログラムの内容

具体的に実施する整備計画等の概要を示しています。

- 1 庁舎跡地の活用による文化にぎわい拠点の形成（⇒67頁参照）
- 2 新庁舎と南池袋公園整備による安全安心拠点の形成
- 3 南北区道（アーバンコリドー）の整備を中心とした回遊空間の形成
- 4 みどりのランドマーク（グリーン大通り）の再生
- 5 未来を見据えたまちづくり基盤の構築

### (3) 対象地域

図表 2-5-10 現庁舎周辺まちづくりビジョン対象エリア



図表 2-5-11 南北区道の整備イメージ



図表 2-5-12 中池袋公園と庁舎跡地エリアの整備



### (4) 経緯

- 平成 23 年 3 月 「現庁舎周辺まちづくりを考える会」 発足
- 平成 23 年 6 月 まちづくりワークショップ 4 回開催
- ～同 24 年 2 月
- 平成 24 年 5 月 まちづくりワークショップ結果報告会  
区長に「まちづくり提言書」提出
- 平成 24 年 9 月 現庁舎周辺まちづくり検討会議開催
- 平成 26 年 3 月 「現庁舎周辺まちづくりビジョン」 策定
- 平成 26 年 7 月 「現庁舎周辺まちづくりビジョン連絡会」 発足